

日本語教育方法論Ⅱ

2単位 2年(後期)

橋本 智・准教授/国際センター

【授業目的】 「外国語としての日本語」を認識・理解し、その教育方法について考察し、言語学習活動の基礎とする。

【授業概要】 日本語教育とは、日本語を教えるということ、何をどう教えるか、日本語教育に係る領域・環境について考察し、自分なりの日本語教育方法を模索する

【キーワード】 外国語としての日本語、何を教えるか、どう教えるか

【履修上の注意】 隔年開講のため2011年には開講されない。

【到達目標】 外国語としての日本語を認識・理解する。またその教育方法論を学ぶ。

【授業計画】

1. 本授業の概要・計画の説明
2. 「外国語としての日本語」に必要なもの①
3. 「外国語としての日本語」に必要なもの②
4. 「外国語としての日本語」のコンテンツ①シラバス
5. 「外国語としての日本語」のコンテンツ②シラバス以外のもの
6. 留学生に聞く
7. 何を教えるか①
8. 何を教えるか②
9. どう教えるか①
10. どう教えるか②
11. 「外国語としての日本語」教育におけるクラス運営①
12. 「外国語としての日本語」教育におけるクラス運営②
13. 「外国語としての日本語」教育における教材・教具とは
14. 留学生・地域と「面白い日本語授業」考える
15. 「面白い日本語授業」のグループ発表
16. 総括

【成績評価】 グループ発表時の積極性、クラスに臨む姿勢、参加度を重視。またレポートを課す。

【再試験】 無

【教科書】 適宜コピー教材を配付

【参考書】

- ◇ 「日本語教育の方法」 田中望 大修館書店
- ◇ 「新しい日本語教育のために」 J.V. ネウストプニー サイマル出版

◇ 「新・はじめての日本語教育1・2」アスク出版

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218924>

【連絡先】

⇒ 橋本 (088-656-9872, hashimoto@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 隔年開講、2011年には開講されない。